

# INFO-HIRO-21

第417号 2017年1月16日  
弘前大学総務部総務広報課

## 学術講演会・研究発表会・公開講座

### 弘前大学理工学研究科×函館工業高等専門学校 学術交流締結記念シンポジウム

昨年3月の弘前大学理工学研究科と函館工業高等専門学校との学術交流締結を記念してシンポジウムを開催いたします。

函館工業高等専門学校土木工学科を卒業された弘前市葛西市長のご挨拶を始め、締結に関わった宮永前研究科長の基調講演、また、両校の教員による研究紹介など充実した内容となっております。

講演終了後は情報交換会も開催いたしますので、ぜひご参加下さい。

【日 時】平成29年1月17日（火）14：00～16：30

【会 場】弘前大学理工学部1号館5階 第10講義室

【対 象】教職員，学生，一般の方，企業関係者

【参加費】無料 ※情報交換会は会費4,000円

【申 込】事前申込は不要です。 ※情報交換会のみ申込が必要になります。

#### 【内 容】

##### 開会挨拶

弘前大学理工学研究科長 加藤 博雄

函館工業高等専門学校長 但野 茂

##### 来賓挨拶

弘前市長 葛西 憲之（函館工業高等専門学校 土木工学科卒業）

##### 基調講演

「北の時代到来の予感～北海道新幹線開業と東北放射光計画～」

弘前大学理工学部 数物科学科 宮永 崇史

##### 研究内容紹介1

「函館／津軽海峡をフィールドとした海岸海洋工学に関わる研究」

函館工業高等専門学校 社会基盤工学科 准教授 宮武 誠

##### 研究内容紹介2

「地域エネルギーの創造・利用に向けた自然エネルギー学科の取り組み」

弘前大学理工学部 自然エネルギー学科 教授 阿布 里提

弘前大学理工学研究科×函館工業高等専門学校  
学術交流協定締結記念シンポジウム  
平成29年1月17日(火) 14:00～16:30

会場 弘前大学理工学部1号館 5階 第10講義室  
弘前市文京町3番地

プログラム

開会挨拶 14:00～14:05 弘前大学理工学研究科長 加藤 博雄  
14:05～14:10 函館工業高等専門学校長 但野 茂

来賓挨拶 14:10～14:15 弘前市長 葛西 憲之  
（函館工業高等専門学校 土木工学科卒業）

基調講演 14:15～14:45  
「北の時代到来の予感～北海道新幹線開業と東北放射光計画～」  
弘前大学理工学部 数物科学科 教授 宮永 崇史

研究内容紹介 14:50～15:30  
「函館／津軽海峡をフィールドとした海岸海洋工学に関わる研究」  
函館工業高等専門学校 社会基盤工学科 准教授 宮武 誠  
15:10～15:30  
「地域エネルギーの創造・利用に向けた自然エネルギー学科の取り組み」  
弘前大学理工学部 自然エネルギー学科 教授 阿布 里提  
15:30～15:55  
「可食性高純度イオン色黒粒子の工業材料への応用と新市場の展望」  
函館工業高等専門学校 物質環境工学科 教授 上野 孝  
15:55～16:15  
「真鍮黄銅製地盤以前と以後の地盤動研究－黄銅を題材に」  
弘前大学理工学部 地盤環境防災学科 准教授 片岡 俊一

■情報交換会 17:00～ 弘前大学生協・ストラテジウムにて開催いたします。  
会費：4千円（当日申し受けます。） ※参加希望の方は下記問い合わせ先までお申し込み下さい。  
申込締切：平成29年1月15日（金）

■主催：弘前大学理工学研究科

■問い合わせ先：弘前大学理工学研究科総務グループ（総務担当）  
〒036-8561 弘前市文京3番地 TEL.0172-39-3933 FAX.0172-39-3513 E-mail jn3509@hirosaki-u.ac.jp

研究内容紹介3

「可食性高純度イカ墨色素粒子の工業材料への応用と新市場の展開」

函館工業高等専門学校 物質環境工学科 教授 上野 孝

研究内容紹介4

「兵庫県南部地震以前と以降の地震動研究－青函を題材に」

弘前大学理工学部 地球環境防災学科 准教授 片岡 俊一

【情報交換会】17:00～ 弘前大学生協レストランスクーラムにて開催  
会費4,000円 (会費は当日申し受けいたします。)  
※情報交換会のみ事前に申込みが必要です。  
申込締切 平成29年1月13日(金)まで

【主催】弘前大学理工学研究科

【問合せ先】弘前大学理工学研究科総務グループ(総務担当)  
TEL 0172-39-3503  
FAX 0172-39-3513  
E-mail jm3505@hirosaki-u.ac.jp

平成28年度 弘前大学大学院人文社会科学部  
修士論文成果発表会開催のお知らせ

- 日時  
2017年1月25日(水) 13:30～18:50(予定)
- 会場  
人文社会科学部棟4階  
多目的ホール・視聴覚ルーム
- 内容  
人文社会科学部(修士課程)の大学院2年生  
の修士論文の発表

一発表者・発表題目・発表会場一

○多目的ホール

汪 思宇 (文化科学専攻)

「日中の比較を表す程度副詞－「もっと」と「更」を中心に－」

張 闊 (文化科学専攻)

「綿矢りさ論－綿矢りさ作品から見る現代の若者－」

杉沢 恵里香 (文化科学専攻)

「『古事記』におけるニギノミコトの婚姻譚について」

木原 博 (文化科学専攻)

「同時代における民俗芸能－島根県益田市における石見神楽を事例として－」

関 美津恵 (文化科学専攻)

「フォルトゥーナ・プリミゲニアの聖域をめぐる解釈」

石川 菜摘 (文化科学専攻)

「カンボジア農村社会における工場労働の人類学的研究－NPO団体の支援と村人の生活実践－」

田崎 杏 (文化科学専攻)

「地域活性化における「ゆるさ」の人類学的研究」

朴 歙 (文化科学専攻)

「留学生と日本人のインタラクションに関する人類学的研究」

平成28年度弘前大学大学院  
人文社会科学部  
修士論文成果発表会

日時 平成29年1月25日(水) 13:30～18:50(終了予定)  
場所 人文社会科学部棟4階 多目的ホール・視聴覚ルーム

①13:40～14:10 ②14:20～14:50 ③15:00～15:30 ④15:40～16:10  
⑤16:20～16:50 ⑥17:00～17:30 ⑦17:40～18:10 ⑧18:20～18:50

【多目的ホール】  
13:30 開会の辞

①汪 思宇  
日中の比較を表す程度副詞－「もっと」と「更」を中心に－

②張 闊  
綿矢りさ論－綿矢りさ作品から見る現代の若者－

③杉沢 恵里香  
『古事記』におけるニギノミコトの婚姻譚について

④木原 博  
同時代における民俗芸能  
－島根県益田市における石見神楽を事例として－

⑤関 美津恵  
フォルトゥーナ・プリミゲニアの聖域をめぐる解釈

⑥石川 菜摘  
カンボジア農村社会における工場労働の人類学的研究  
－NPO団体の支援と村人の生活実践－

⑦田崎 杏  
地域活性化における「ゆるさ」の人類学的研究

⑧朴 歙  
留学生と日本人のインタラクションに関する人類学的研究

18:50 閉会の辞

【視聴覚ルーム】

①佐藤 亨郎  
ネットワークを利用した圏域におけるアロハイアの地理的  
意味

②松田 陽佑  
施設内流通から社会内流通への転換による再編成  
－高齢化と若者自己雇用事業を中心に－

③本村 信秀  
地方消費税の設計と市町村財政  
－地方消費税交付金と地方交付税の算定基準  
等に関する考察－

④大崎 晶子  
コミュニティビジネスにおけるソーシャル・  
イノベーションの醸成と普及のプロセス  
－総合型地域産出型アグリカル制度推進委員会  
法人としての実践の事業性との地域社会との  
関係性の検討を通して－

⑤紅 屋  
アジア圏域における日系企業の人材  
資源管理－「雇地」必要とする人材採用策の  
類型化を通して－

⑥少 華  
中国における内販型日系企業の人材管理による  
人材資源管理の研究

⑦ 廣 葉  
アメリカ、中国と日本におけるIn-Workについて

事前申し込みは不要です！是非、ご参加ください！  
お問い合わせ先 弘前大学人文社会科学部総務担当 0172-39-3841 / Mail: jm3505@hirosaki-u.ac.jp

## ○視聴覚ルーム

- 佐藤 亨郎（応用社会科学専攻）  
「ネットワークを利用した犯罪におけるプロバイダの法的責任」
- 松田 翔伍（応用社会科学専攻）  
「施設内処遇から社会内処遇への転換による再犯防止～高齢犯罪者・薬物自己使用事犯者を中心に～」
- 木村 信秀（応用社会科学専攻）  
「地方消費税の設計と市町村財政—消費税交付金と地方交付税の算定基準改革に向けた提案—」
- 大西 晶子（応用社会科学専攻）  
「コミュニティ・ビジネスにおけるソーシャル・イノベーションの創出と普及のプロセス ～総合型地域スポーツクラブ特定非営利活動法人スポネット弘前の革新性と地域社会との関係性の検討を通して～」
- 魏 紅敏  
「アジア新興国における日系企業の人的資源管理  
—「現地で必要とする人材採用難」の解決に向けて—」
- 黄 少華  
「中国における内販型日系企業の人間尊重による人材資源管理の研究」
- 童 慶  
「アメリカ、中国と日本におけるFinTechについて」

当研究科の大学院生の研究活動や研究内容にご関心をお持ちの方は、お気軽にご参加ください。※入場無料、事前の申込は不要です。

### ・問い合わせ先

弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当  
TEL: 0172-39-3941  
E-mail: jm3941@hirosaki-u.ac.jp

## 平成28年度後期 弘前大学大学院人文社会科学研究所 FD公開発表会開催のお知らせ

### ・日時

2017年2月1日（水） 14:30～16:30（予定）

### ・会場

人文社会科学部棟4階 多目的ホール

### ・内容

人文社会科学研究所（修士課程）の大学院生の研究発表

### —発表者と発表題目—

- 小寺 将太（文化科学専攻1年）  
「地域と学生の双方が育つインターンシップに関する研究」
- 芳賀 遥（文化科学専攻1年）  
「在宅患者・介護者への精神的サポートとしての語りの場」
- 村上 謙吾（文化科学専攻1年）  
「近世前期の『源氏物語』享受—高照神社蔵『源氏物語之詞』を中心に—」

当研究科の大学院生の研究活動や研究内容にご関心をお持ちの方は、お気軽にご参加ください。※入場無料、事前の申込は不要です。

弘前大学大学院  
人文社会科学研究所  
Hirosaki University Graduate School  
of Humanities and Social Sciences

平成28年度後期  
**FD公開発表会**  
(修士論文中間報告会)

大学院の研究に関心のある方、入学を考えている方など、学部生、大学院生、教職員、社会人のみならずご参加をお待ちしております。

日時 平成29年2月1日(水)14:30～16:30(終了予定)

場所 人文社会科学部棟4階多目的ホール  
～プログラム～

14:30	開会の辞
14:40～15:10	氏名 小寺 将太 (文化科学専攻1年) 題目 地域と学生の双方が育つインターンシップに関する研究
15:20～15:50	氏名 芳賀 遥 (文化科学専攻1年) 題目 在宅患者・介護者への精神的サポートとしての語りの場
16:00～16:30	氏名 村上 謙吾 (文化科学専攻1年) 題目 近世前期の『源氏物語』享受 —高照神社蔵『源氏物語之詞』を中心に—

事前申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

お問い合わせ: 弘前大学人文社会科学部教務担当  
電話 0172-39-3941 E-mail jm3941@hirosaki-u.ac.jp

・ 問い合わせ先  
弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当  
TEL: 0172-39-3941  
E-mail: jm3941@hirosaki-u.ac.jp

### EndNote講習会開催のお知らせ

文献管理・論文作成支援ソフト「EndNote」の講習会を開催します。講師は外部から招いた専門家ですので、分かりやすく実践的な講習内容となっております。この機会には是非ご参加ください。

対象者：本学の学生及び教職員  
事前に下記URLよりお申込ください。  
(<https://goo.gl/forms/kvA38kCBEmYDu9YT2>)

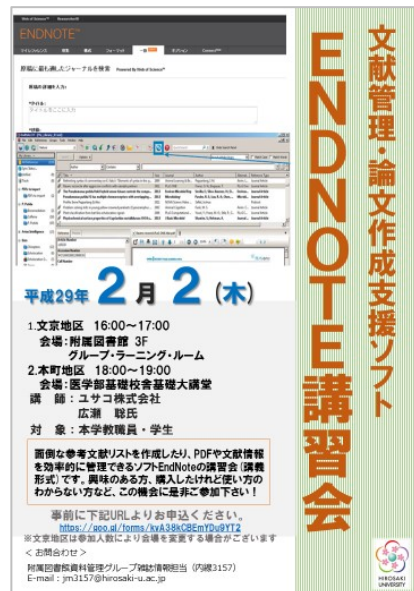
講習会内容：EndNote（文献管理・論文作成支援ソフト）

講師：ユサコ株式会社 リサーチ・アシストグループ  
広瀬 聡 氏

実施会場 附属図書館3Fグループラーニングルーム（平成29年2月2日 16:00～17:00）  
医学部基礎校舎基礎大講堂（平成29年2月2日 18:00～19:00）

※文京地区は参加人数により会場を変更する場合がございます。

問い合わせ先：附属図書館資料管理グループ雑誌情報担当  
Tel (内)3157 / E-mail jm3157@hirosaki-u.ac.jp



文献管理・論文作成支援ソフト  
**ENDNOTE講習会**

平成29年 2月2日(木)

1.文京地区 16:00～17:00  
会場:附属図書館 3F  
グループラーニング・ルーム

2.本町地区 18:00～19:00  
会場:医学部基礎校舎基礎大講堂  
講師:ユサコ株式会社

対象:本学教職員・学生

豊富な参考文献リストを作成したり、PDFや文献情報を効率的に管理できるソフトEndNoteの講習会(講義形式)です。興味のある方、購入したけれど使い方がわからない方など、この機会に是非ご参加下さい!

事前に下記URLよりお申込ください。  
<https://goo.gl/forms/kvA38kCBEmYDu9YT2>  
※文京地区は参加人数により会場を変更する場合がございます  
<お問い合わせ>  
附属図書館資料管理グループ雑誌情報担当 (内線3157)  
E-mail: jm3157@hirosaki-u.ac.jp

### 平成28年度第2回 知財塾開催のお知らせ

この度、研究・イノベーション推進機構では、教育・研究活動によって得られた知的財産の保護及び有効な活用により、社会の持続的発展に貢献することを目的に知財塾を開催します。第2回は、株式会社東北テクノアーチ代表取締役社長 水田 貴信 氏を講師にお招きし、「産学連携の担い手としてのTLO、その使命と実務」と題してご講演いただきます。

知的財産権等に関する知識、理解を深めたい方など興味がある方は是非ご参加下さい。

皆様のご参加をお待ちしております。

1. 場所：弘前大学医学部基礎校舎1階 大会議室
2. 日時：平成29年2月10日(金)  
18:30～20:00
3. テーマ：産学連携の担い手としてのTLO、その使命と実務
4. 講師：株式会社東北テクノアーチ代表取締役社長 水田 貴信 氏
5. 対象：教職員、学生、大学院生、一般企業
6. 定員：50名
7. 参加料：無料



平成28年度 第2回 **知財塾**

弘前大学研究・イノベーション推進機構では、教育・研究活動によって得られた知的財産の保護及び有効な活用により、社会の持続的発展に貢献することを目的としたセミナーを開催します。

2017年 2月10日(金) 18時30分～20時

「産学連携の担い手としてのTLO、その使命と実務」

株式会社東北テクノアーチ 代表取締役社長  
みずた たかのぶ  
水田 貴信 氏

●経歴●  
2009年 弘前大学大学院理学部理学研究科修士課程修了  
2009年 弘前大学客員研究員 (PC21プログラム)  
2009年 株式会社東北テクノアーチ代表取締役社長  
2011年 株式会社東北テクノアーチ取締役副社長  
2012年 株式会社東北テクノアーチ取締役副社長  
2014年 株式会社東北テクノアーチ代表取締役社長

場 所：弘前大学医学部基礎校舎1階 大会議室 (本町キャンパス)  
参加費：無料 定員：50名  
対象：教職員、学生、大学院生、一般企業  
申込：2月6日(月)までに、氏名、所属、役職、連絡先を申込先までご連絡ください。

主催：弘前大学研究・イノベーション推進機構  
共催：弘前大学COE推進機構、ひろさき学芸連携フォーラム、学術部ひろさき国際連携情報センター  
申込先：弘前大学 研究・イノベーション推進機構 (担当：山本)  
TEL 0172-39-3912 FAX 0172-39-3919 E-mail chizai@hirosaki-u.ac.jp

※参加を希望される方は、氏名、所属・役職、連絡先を記載し、2月6日（月）までに、下記連絡先までお申し込みください。

参加申込み先：弘前大学 研究・イノベーション推進機構 知的資産部門（担当：山本）  
TEL：0172-39-3912 FAX：0172-39-3919  
E-mail：chizai@hirosaki-u.ac.jp

**文部科学省 情報ひろば講演会「弘前大学の被ばく医療教育・研究及び福島復興への取り組み」開催のお知らせ（再掲）**

弘前大学は、東日本大震災以前より文部科学省の支援を受け、被ばく医療体制の整備、被ばく医療に関わる教育・研究ならびに人材育成に取り組んできました。また、昨年国から原子力災害に対応する施設として「高度被ばく医療支援センター」及び「原子力災害医療・総合支援センター」の指定を受け、弘前大学が取り組んできた被ばく医療での活動はさらに重要になっています。

こうした本学の取り組みについて、現在文部科学省の「情報ひろば」にて企画展示（～平成29年3月21日）を行っており、その一環として、このたび講演会を開催することとなりました。

弘前大学独自の学部横断的な取り組みである浪江町復興支援事業や、保健学研究科を中心とした人材育成事業、福島原発事故後の人的貢献等について紹介いたします。

1. 日時： 平成29年1月20日（金）  
16時00分～17時00分
2. 場所： 文部科学省 旧庁舎1階 情報ひろばラウンジシアタースペース
3. テーマ： 「弘前大学の被ばく医療教育・研究及び福島復興への取り組み」
4. プログラム：  
16:00 ごあいさつ（弘前大学長 佐藤 敬）  
16:05 講演1 「弘前大学の被ばく医療に関する取り組み紹介」（弘前大学副学長 柏倉 幾郎）  
16:20 講演2 「福島県浪江町復興支援プロジェクトの紹介」（弘前大学被ばく医療総合研究所教授 床次 眞司）
5. 参加費： 無料（要事前申込・定員40名）
6. 申込方法： E-mailによる事前申込制となります。  
お申し込み先：hbk@hirosaki-u.ac.jp  
①「氏名」、②「弘前大学 被ばく医療講演 参加希望」を明記のうえ、お申し込みください。

弘前大学の被ばく医療教育・研究及び福島復興への取り組み

16:00 ごあいさつ 弘前大学長 佐藤 敬

16:05 講演1 弘前大学の緊急被ばく医療に関する取り組み紹介 弘前大学副学長 柏倉 幾郎

16:20 講演2 福島県浪江町復興支援プロジェクトの紹介 弘前大学被ばく医療総合研究所教授 床次 眞司

2017 1/20 16:00~17:00 Fri. (開場 15:30) 要事前申込 入場無料

会場 文部科学省1階 情報ひろば ラウンジシアタースペース

〒100-8958 東京都千代田区千代田3-2-2 総務課「民/庁用」11番室に設置 予約電話「03-3466-4113」郵送に送料5分

申込・問い合わせ 弘前大学被ばく医療総合研究所 〒030-8584 青森県弘前市本町66-1 Tel: 0172-39-3485 E-mail: hbk@hirosaki-u.ac.jp

①「氏名」②「弘前大学 被ばく医療講演 参加希望」を明記のうえ、お申し込みください。お申し込み先：hbk@hirosaki-u.ac.jp

③「氏名」④「氏名」⑤「氏名」⑥「氏名」⑦「氏名」⑧「氏名」⑨「氏名」⑩「氏名」⑪「氏名」⑫「氏名」⑬「氏名」⑭「氏名」⑮「氏名」⑯「氏名」⑰「氏名」⑱「氏名」⑲「氏名」⑳「氏名」㉑「氏名」㉒「氏名」㉓「氏名」㉔「氏名」㉕「氏名」㉖「氏名」㉗「氏名」㉘「氏名」㉙「氏名」㉚「氏名」㉛「氏名」㉜「氏名」㉝「氏名」㉞「氏名」㉟「氏名」㊱「氏名」㊲「氏名」㊳「氏名」㊴「氏名」㊵「氏名」㊶「氏名」㊷「氏名」㊸「氏名」㊹「氏名」㊺「氏名」㊻「氏名」㊼「氏名」㊽「氏名」㊾「氏名」㊿「氏名」

- セミナーで聞いてみたいことや講師への質問がございましたら申し込み時に記載してください。
- 定員40名になり次第締め切らせていただきますが、席に余裕があれば当日の参加も可能です。
- お申し込みキャンセルされる場合は、同E-mailにその旨ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

弘前大学被ばく医療総合研究所  
(〒036-8564 青森県弘前市本町66-1)  
Tel : 0172-39-5401  
E-mail : hbk@hirosaki-u.ac.jp

青森県水産物輸出拡大シンポジウムのお知らせ（再掲）

地方大学では地域の課題に密着した研究を行うことになった。弘前大学全体で取り組む課題として「国際競争力のある青森ブランド食産業の創設に向けた青森型地方創生サイクルの確立」が採択され、このうち人文社会科学部と農学生命科学部のテーマが「国際市場を視野に入れた販売戦略の立案と輸出拡大に向けた環境づくり」となっている。

このたび、県産水産物の更なる輸出拡大を進めることを目的とし、以下によりシンポジウムを開催するものである。

主催：弘前大学りんご輸出研究会  
弘前大学農学生命科学部ナマコ研究部門  
青森県農林水産物輸出促進協議会

共催：青森県漁業協同組合連合会  
一般社団法人青森県水産振興会  
青森県ほたて流通振興協会

開催日時：平成29年1月27日（金） 13：00～15：30

開催場所：青森県水産ビル7階大会議室 青森市安方1丁目1-32

テーマ：水産物輸出の現状と将来方向

講師：「問題提起」

弘前大学人文社会科学部教授 黄孝春

「世界を巡るホタテガイ」

青森県下北地域県民局地域農林水産部長 小坂善信氏

「日本産なまこ輸出に伴う諸問題と今後の方向」

弘前大学農学生命科学部教授 渋谷長生氏

「道産水産物の現状と今後の方向性」

北海道漁連代表理事専務 崎出弘和氏

参加料無料

連絡先：弘前市文京町1

弘前大学人文社会科学部 教授 黄孝春

電話：0172-39-3287（fax兼）

Email：huang@hirosaki-u.ac.jp

## 学 内 掲 示 板

### 国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

最新号「国立大学第43号」では、「特集 寄付と国立大学」において、本学・弘前市・弘前商工会議所の三者で設立した「学都ひろさき未来基金」が紹介されています。ぜひご覧ください。

最新号（本学関連記事掲載）「国立大学第43号」

<http://www.janu.jp/report/koho/43gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会，研究発表会，部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに，下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: [jm3012@hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3012@hirosaki-u.ac.jp) FAX:37-6594 内線：3029